

第2部



日本ショパン協会中部支部

第100回例会

海老 彰子

プレミアムトーク & 公開レッスン



海老 彰子 Akiko Ebi

パリと東京を拠点にグローバルに活躍する、本格実力派ピアニスト。バロックから現代音楽まで幅広いレパートリーをもち、たおやかな日本人らしさを忘れない温かみのある人柄は、世界中の演奏家から厚い信頼を得ている。

東京藝術大学在学中に第41回日本音楽コンクール優勝後、フランス政府給費留学生として研鑽を積む。パリ国立高等音楽院最優秀首席卒業、同研究科修了。ロン＝ティボー国際コンクールで第2位グランプリと4種の特別賞をA.ルービンシュタイン氏等から受けるほか、ショパン国際コンクールの上位に入賞。日本ゴールドディスク大賞2回、エクソン・モービル音楽賞本賞等を受賞。フランス政府から文芸シュヴァリエ勲章、パリ名誉市民メダル、ポーランド政府からグロリア・アルティス勲章を授与される。2024年に令和6年度文化庁長官表彰を受賞。

現在にいたるまで世界40か国で演奏活動を行う。N響、読響、都響、ワルシャワ国立、フランス放送、モンテカルロ、アルゼンチン国立、英国、スロヴァキア、ソフィア国立等のオーケストラと共演。マルタ・アルゲリッチとの2台のピアノ・デュオ・コンサートは全欧州各国や日本でもテレビ放映され、大いに好評を博した。2022年には日本でデュオ・リサイタルが実現、篤い友情で結ばれたふたりの共演は高い注目を集めた。シャンゼリゼ劇場、サル・プレイエル、ゲヴァントハウス、ベルリンフィル・フィルハーモニーザール、ウィグモアホール、サントリーホール等世界の主要ホールで演奏。後進の育成にも力を注ぎ、世界各国からマスタークラスの依頼も多い。

第8回、第9回浜松国際ピアノコンクール審査委員長。ロン＝ティボー国際コンクール審査員。また第17回、18回に続き、2025年に開催された第19回ショパン国際ピアノコンクールでも審査員を務めた。元日本大学芸術学部大学院教授。元東京芸術大学ピアノ科客員教授。

現在、桐朋学園大学特命教授、日本ショパン協会会長。横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員長。

ピアニストでありながら、審査員としても数多くのコンクールに携わってきたご経験から、演奏会やコンクールなどの舞台に向けて大切にしてほしいこと、舞台裏などを飾らない視点でお話しします。

後半は ショパンの楽曲に対してどのようにアプローチしていくのか、モデル演奏を交えて お伝えします。

対談：松本 総一郎

(日本ショパン協会中部支部理事)

公開レッスン モデル

田島 里穂

ショパン：ポロネーズ第8番 二短調 Op.71-1

(第19回中部ショパンピアノコンクール 中学生部門 銀賞)

波多野 堇

ショパン：エチュード Op.10-1, Op.10-7

(ブレーシリーズ 2026出演者)

2026

10/17(土)

14:00～16:20

終演後、協会会員限定の交流会を開催予定♪

カワイ名古屋 2Fコンサートサロン ブーレ

名古屋市中区錦3-15-15 「栄」3番出口より徒歩1分

U25(25歳以下)・日本ショパン協会会員 3500円

一般 4500円

(第1部のチケットも購入の方は上記より500円引き)



お申込みはこちら

右のQRコードまたはTELにてお申込みください。

主催：お問合せ 日本ショパン協会中部支部

TEL052-962-3939(代) E-mail: chopin-chubu@kawai.co.jp



第1部

プロログコンサート
裏面にあります